

2025年3月期 決算について

2025年 5月12日
JFE鋼板株式会社

2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

連結経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	70,269	△ 3.6	5,766	－	3,898
2024年3月期	72,934	△ 5.1	5,044	△ 65	3,481

注 連結子会社数

2025年3月期 5社、2024年3月期 5社

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

(参考)単体経営成績

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	61,937	△ 2.9	5,509	－	3,756
2024年3月期	63,824	△ 5.3	4,914	－	3,528

【当期の概況】

当期の国内薄板建材の需要は、資材価格の高止まりと慢性的な人手不足が継続する中、住宅分野においては価格上昇や金利先高感による取得意欲の抑制、非住宅分野においては建設コスト高騰に伴う計画見直しや発注の先送りが発生し、全体としての回復の兆しは見えにくい状況が続きました。
このような需要動向により、当社の販売数量および生産量は減少しました。

【当期の損益】

連結経営成績は、売上高70,269百万円(前期比△2,664百万円)、経常利益5,766百万円(前期比+722百万円)、当期純利益3,898百万円(前期比+417百万円)となりました。

単体経営成績は、市場環境の変化や建設関連需要の厳しさが続く中、当社独自の高付加価値鋼板製品「Jクラフト[®]」「ガルフレックス[®]」や建材商品「ジョイント立平[®]」等の積極販売により収益の確保に寄与した結果、単体経営成績は、売上高61,937百万円(前期比△1,886百万円)、経常利益5,509百万円(前期比+595百万円)、当期純利益3,756百万円(前期比+228百万円)となりました。

【次期の見通し】

国内の建設市場は依然として不透明感が続く予想され、販売環境の厳しさが継続する見通しです。しかしながら、一部の住宅建材関連分野においては底打ち感をみせ始めており、今後の需要回復に向けた兆しもございます。当社は以下の施策により、成長する企業像を実現するために収益基盤の強化を目指します。

- 1) 鋼板では環境に優しいクロメートフリーカラー鋼板「Jクラフト[®]」、優れた加工性で“曲げればわかる”「ガルフレックス[®]」を中心に拡販を推進します。
- 2) 製造体制の更なる強化を図り、無駄のない効率的な生産に徹し、設備老朽化対応と高品質カラー鋼板の品質レベルアップ、安定生産に取り組みます。
- 3) 省力化・省エネ・自然災害といった変化するニーズを的確に捉え、災害に強い金属屋根とシステム鉄骨を組み合わせた「災強パッケージ[®]」の提案活動を推進、高強度な折板屋根「Jロック500[®]」、「タイトロック500[®]」など機能性と安全性を両立した商品販売の強化に努めます。
- 4) お客様に対しては、足下の原料・エネルギー・物流等の物価水準および当社商品の価値をご理解いただくべく丁寧な説明に務め、再生産可能な適性販売価格の実現を目指します。

以上